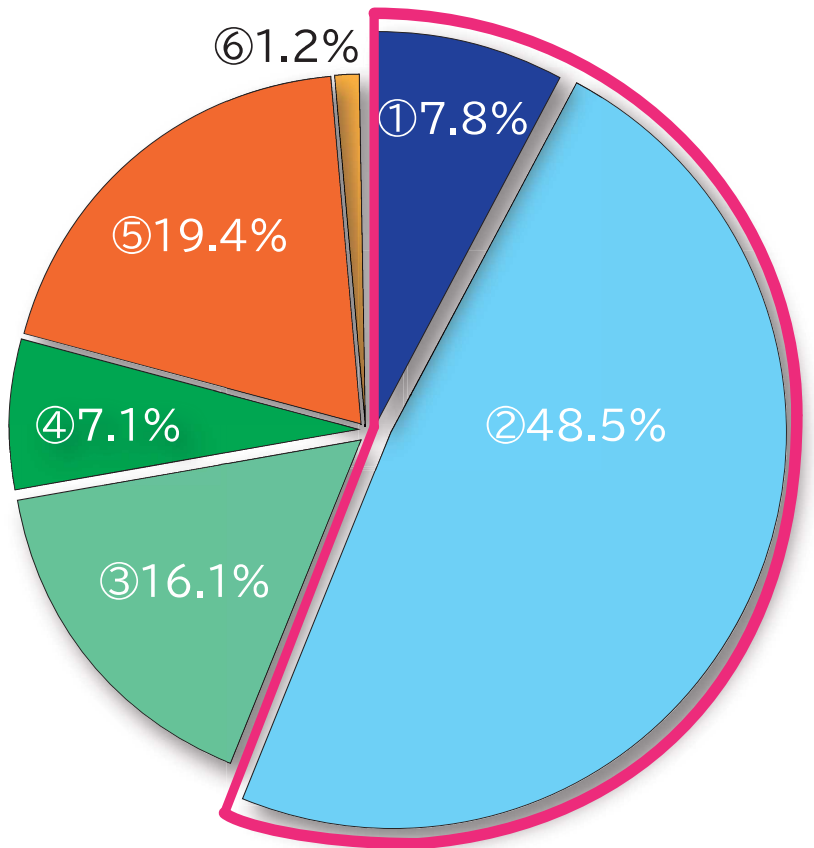
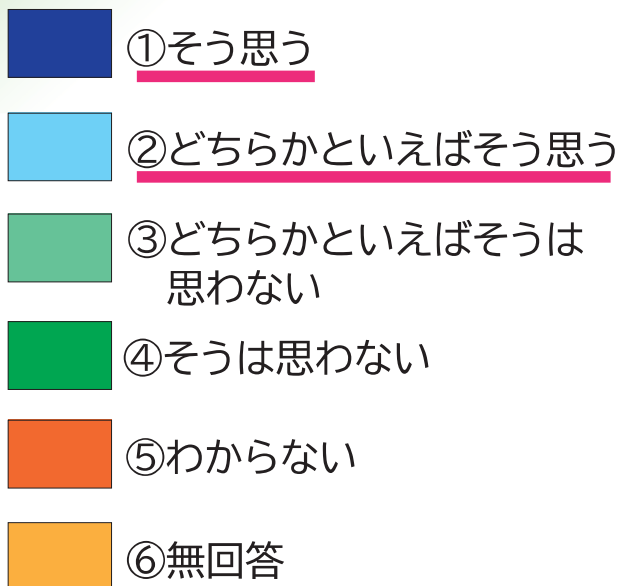


# 人権に関する県民意識調査の結果から

あなたは、今の滋賀県は「人権が尊重される社会」になっていると思いますか？

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は合わせて56.3%と半数を超えています。

これまでの人権に関する教育・啓発が一定浸透してきているものと考えられます。



もっと「人権が尊重されている」と思える社会になるように、みんなで努力するのだー！

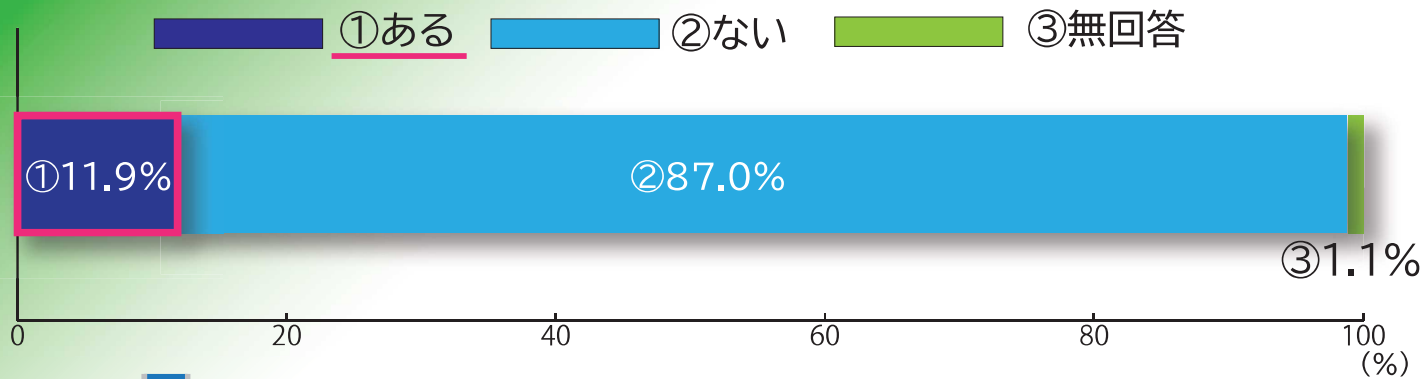


## 調査の概要（※調査は5年に1回実施）

- ・ 調査期間 令和3年（2021年）9月22日～10月31日
- ・ 調査対象 県内に在住する18歳以上の方 3,000人（外国人住民を含む。）
- ・ 回収率 52.0%

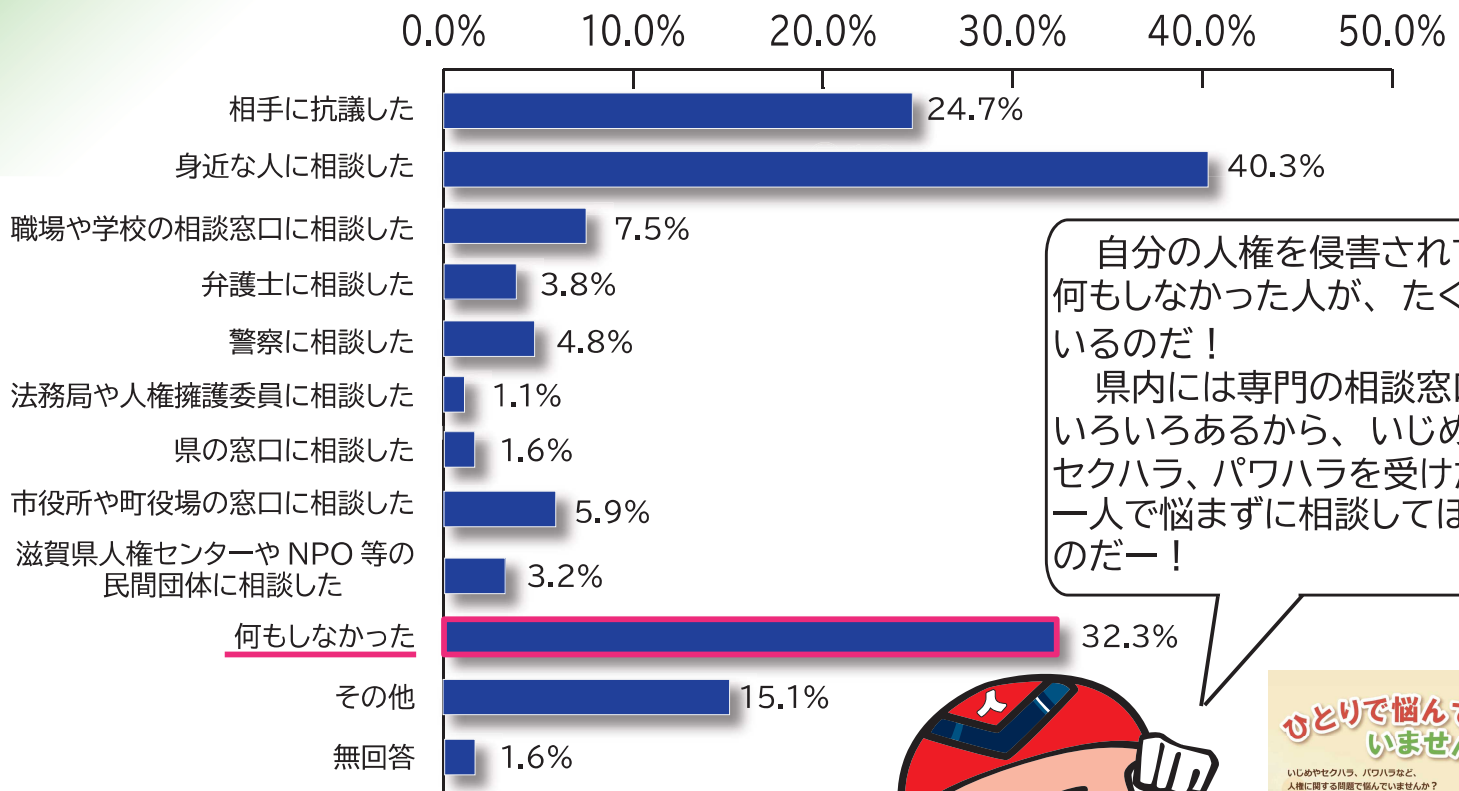
# 人権に関する県民意識調査の結果から

あなたは、ここ5年以内で差別や人権侵害を受けたことがありますか？

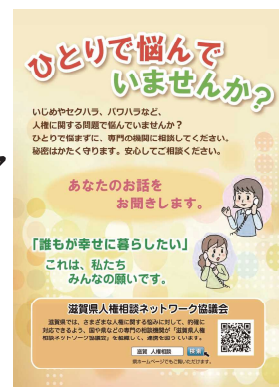
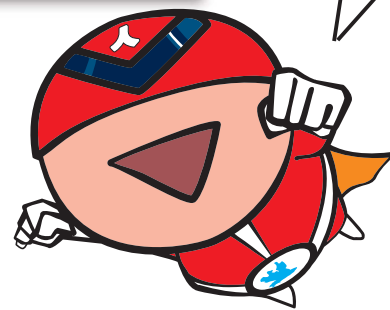


「①ある」と回答した人への質問

差別や人権侵害を受けたときに、どのような対応をされましたか？



自分の人権を侵害されても何もしなかった人が、たくさんいるのだ！  
県内には専門の相談窓口がいろいろあるから、いじめやセクハラ、パワハラを受けたら、一人で悩まずに相談してほしいのだー！



「差別や人権侵害を受けたことがある」と回答した人の割合は11.9%でした。

また、その時の反応をたずねると、相手に抗議したり、様々な相談窓口相談している人がいる一方、前々回・前回調査より減少しているものの、依然として約3割の人は、「何もしなかった」と回答しています。

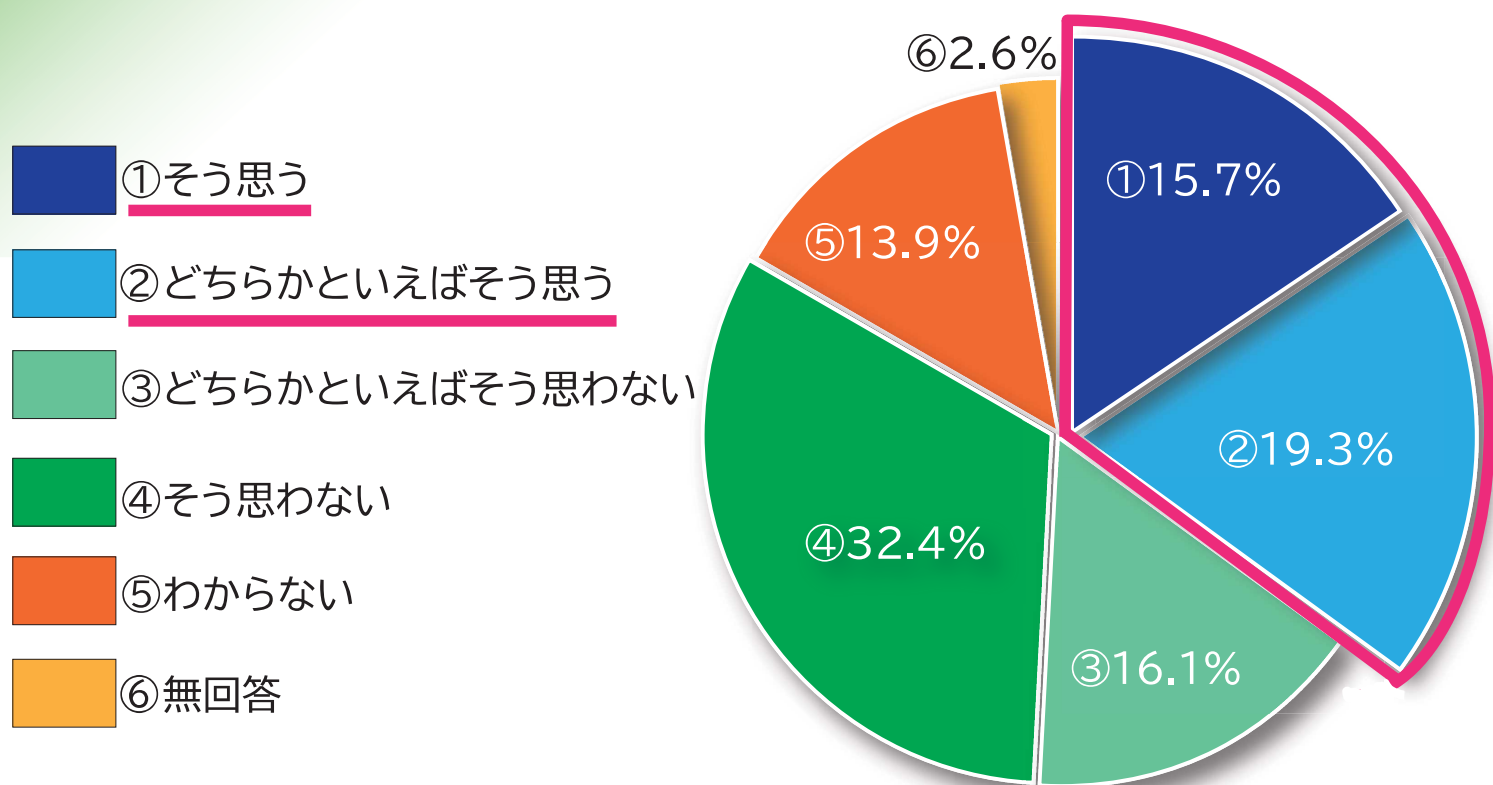
相談窓口リーフレット  
「ひとり悩んでいませんか？」  
(滋賀県ホームページ)



### ③ 人権に関する県民意識調査の結果から

「同和問題のことなど口に出さず、そっとしておけば、差別は自然になくなる」という考えについて、あなたはどのように思いますか？

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせると35.0%でした。しかし、何も知らずに同和問題（部落差別）についての誤った情報に接すると、それをそのまま信じてしまい、結果的に差別を温存することにつながることもあります。同和問題の解決のためには、正しい知識を身につけることが必要です。



残念だけど、最近はインターネット上で、差別をあおるような書き込みが行われたり、公然と同和地区で撮影した動画が載せられたりしているのだー！  
みんなが同和問題を正しく学び、差別をゆるさないことが大切なのだー！



同和問題（部落差別）とは・・・

同和地区・被差別部落などと呼ばれる地域の出身であることや、そこに住んでいることを理由に、結婚を反対されたり、日常生活の上で様々な差別を受けるという日本固有の人権問題です。

# 人権に関する県民意識調査の結果から

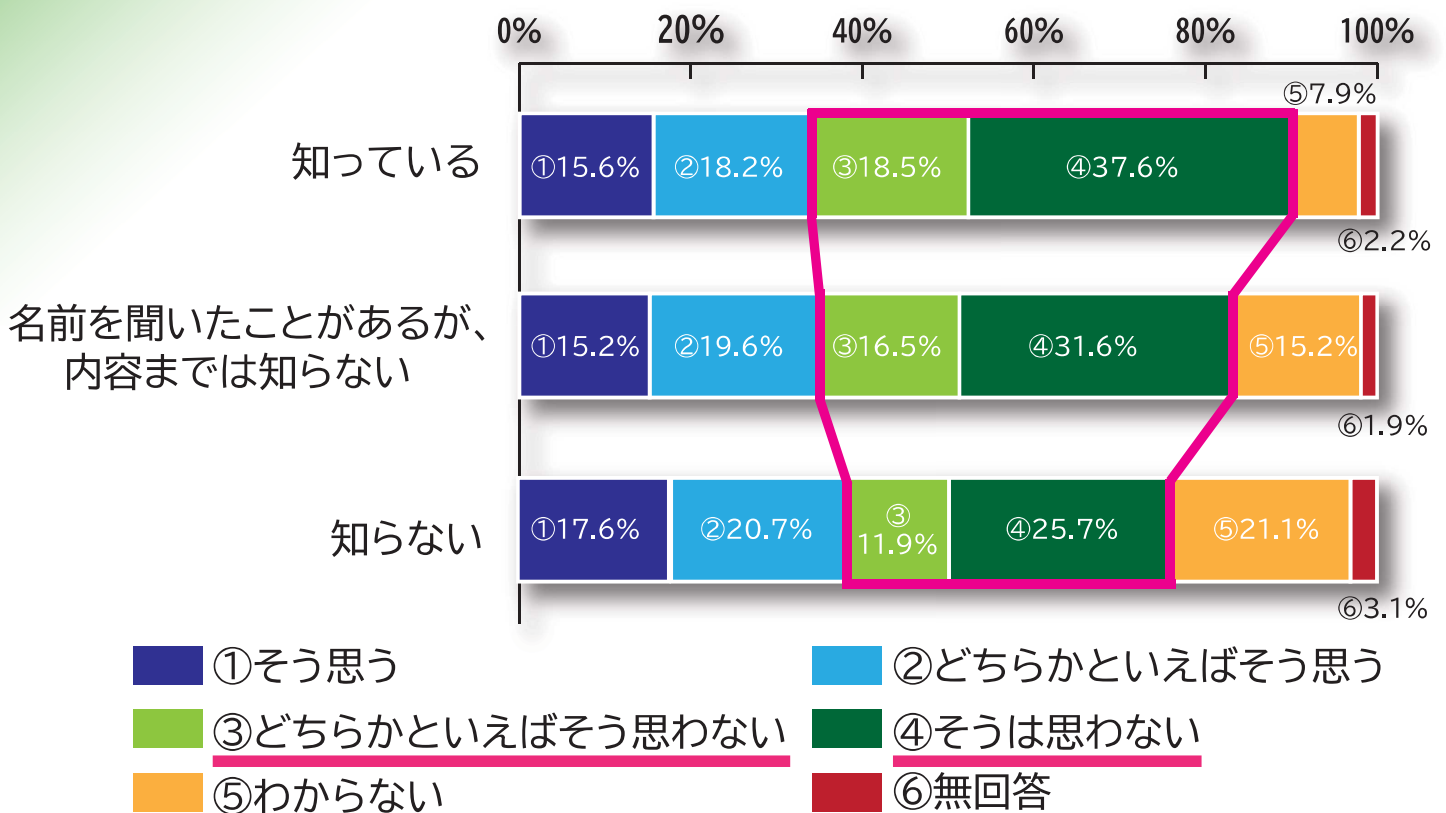
〈クロス集計〉

部落差別解消推進法の認知度

同和問題の解決方法についての考え方

(同和問題のことなど口に出さず、そっとしておけば、差別は自然になくなる)


部落差別解消推進法をよく知っている人ほど、「同和問題のことなど口に出さず、そっとしておけば、差別は自然になくなる」という考え方について、「そうは思わない」「どちらかといえばそうは思わない」を合わせた“そうは思わない”と答えた人の割合が高くなっています。



部落差別解消推進法とは・・・

現在においても差別発言などが発生しているほか、インターネット上で部落差別を助長するような内容の書き込みが行われている状況などを踏まえ、平成28年(2016年)12月に施行された法律です。

この法律は、今もなお部落差別が存在し、部落差別はゆるされないものであるという認識のもと、部落差別のない社会を実現することを目的としています。

同和問題や部落差別解消  
推進法の詳細はこちら  
(法務省ホームページ) 

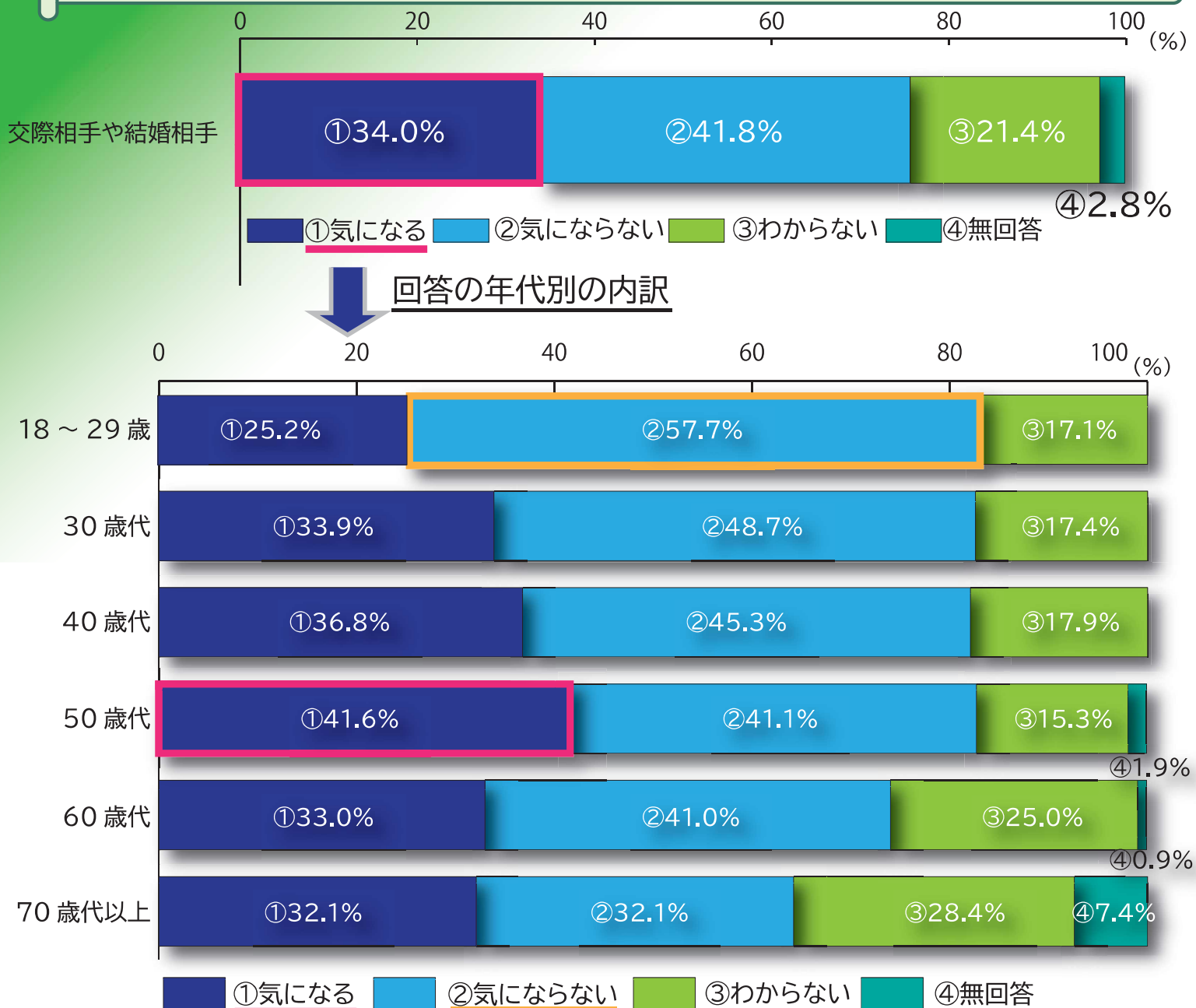


法律のことを知って、同和問題についての正しい知識を身につけてほしいのだー！



# 人権に関する県民意識調査の結果から

あなたは、交際相手や結婚相手が被差別部落の出身者であるかどうか  
気になりますか？



交際相手や結婚相手が被差別部落の出身者であるかどうか「気になる」と回答した人は34.0%でした。

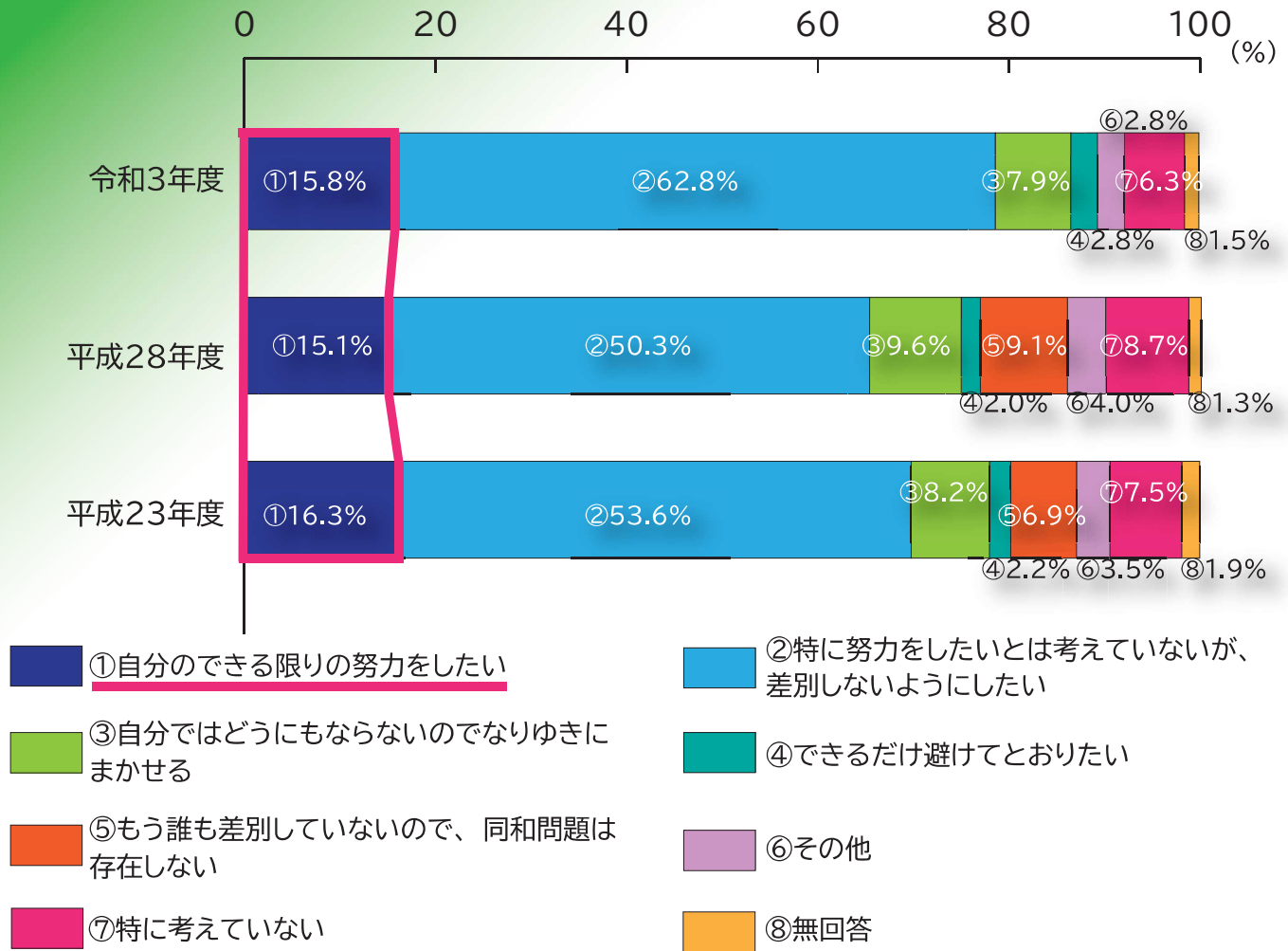
また、年代別で見ると、「気になる」と回答した人の割合は50歳代が最も高く、「気にならない」と回答した人の割合は18～29歳代が最も高くなりました。

結婚は二人の意思に基づいて行われるもの。  
相手が「どこの人か」を気にするのではなく、  
「どんな人か」を見てあげてほしいのだー！



# 人権に関する県民意識調査の結果から

同和問題の解決に向けて、あなたの思いに近いものを1つだけ選んでください。



同和問題の解決に向けての思いをたずねたところ、「とくに努力したいとは考えていないが、差別しないようにしたい」と回答した人の割合が前々回、前回調査より増加し、62.8%となっています。

一方、「自分のできる限りの努力をしたい」と回答した人は15.8%で、前々回、前回調査とほとんど変わらず、増加していません。

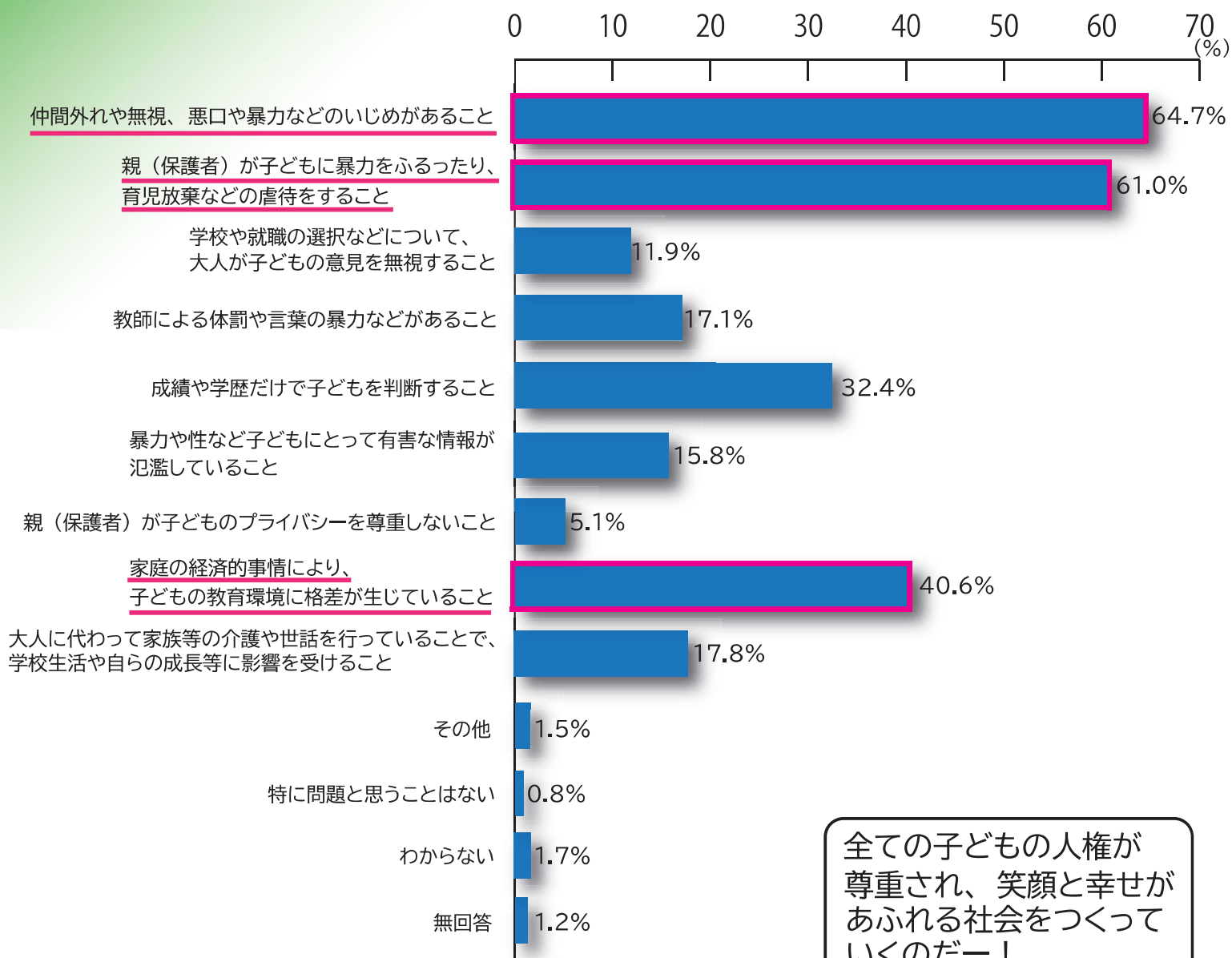
差別をなくすためには、一人ひとりの意識と行動が大切なのだー！  
みんなの行動が変われば、差別のない社会を実現できるのだー！



# 人権に関する県民意識調査の結果から

子どもに関する事柄で、人権上、特にどのようなことが問題だと思えますか？（3つまで選択）

「仲間はずれや無視、悪口や暴力などのいじめがあること」と回答した人の割合が最も高く、次いで「親（保護者）が子どもに暴力をふるったり、育児放棄などの虐待をすること」、「家庭の経済的事情により、子どもの教育環境に格差が生じていること」の順となっています。



全ての子どもの人権が尊重され、笑顔と幸せがあふれる社会をつくって行くのだー！



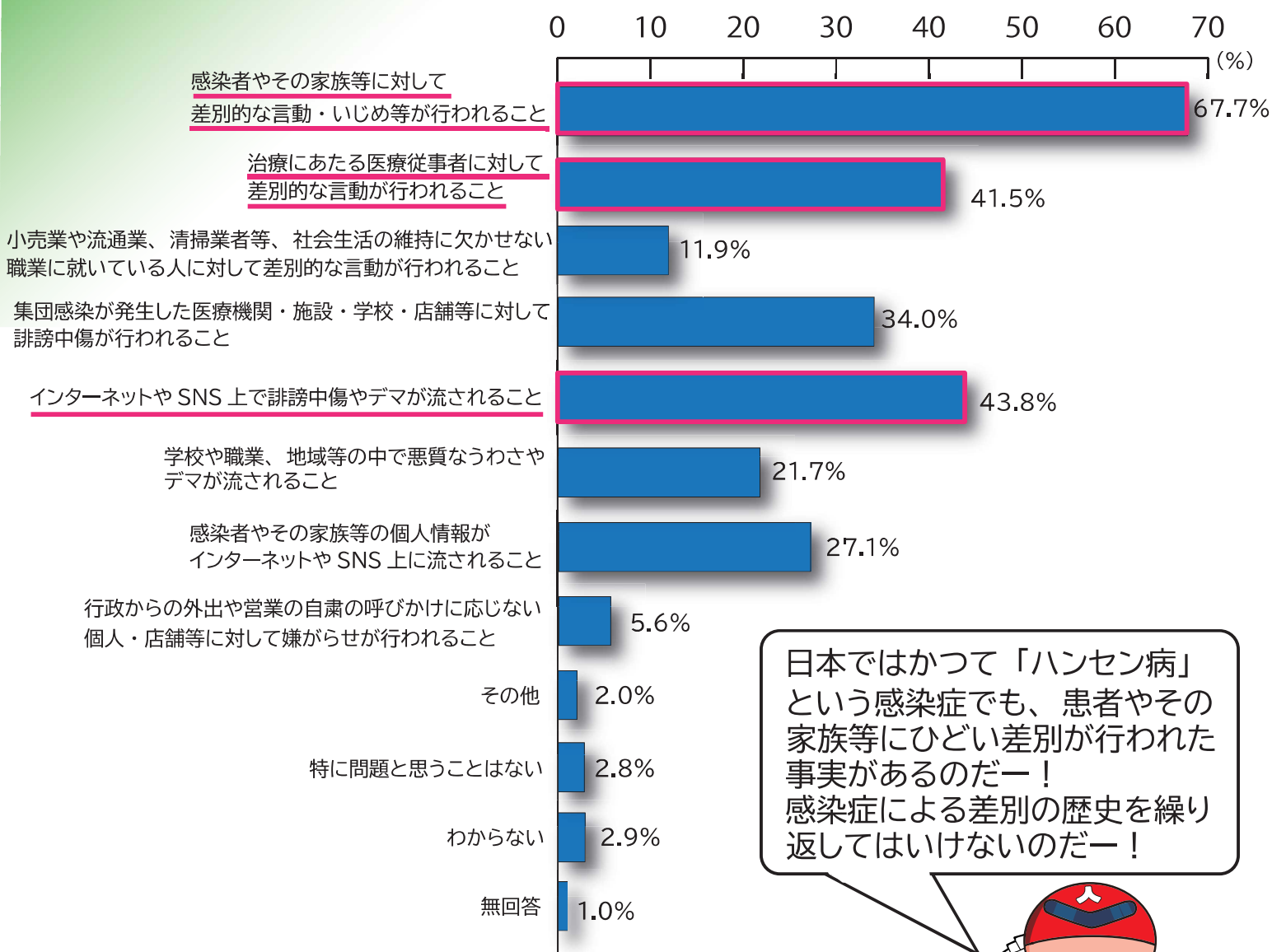
令和2年（2020年）4月に児童虐待防止法が改正され、子どもに対する体罰の禁止が明記されました。



# ⑧ 人権に関する県民意識調査の結果から

新型コロナウイルス感染症に関する事柄で、人権上、特にどのようなことが問題だと思いますか？（3つまで選択）

「感染症やその家族等に対して差別的な言動・いじめ等が行われること」と回答した人の割合が最も高く、次いで「インターネットやSNS上で誹謗中傷やデマが流されること」、「治療にあたる医療従事者に対して差別的な言動が行われること」の順となっています。



日本ではかつて「ハンセン病」という感染症でも、患者やその家族等にひどい差別が行われた事実があるのだー！  
感染症による差別の歴史を繰り返してはいけないのだー！



ハンセン病とは・・・

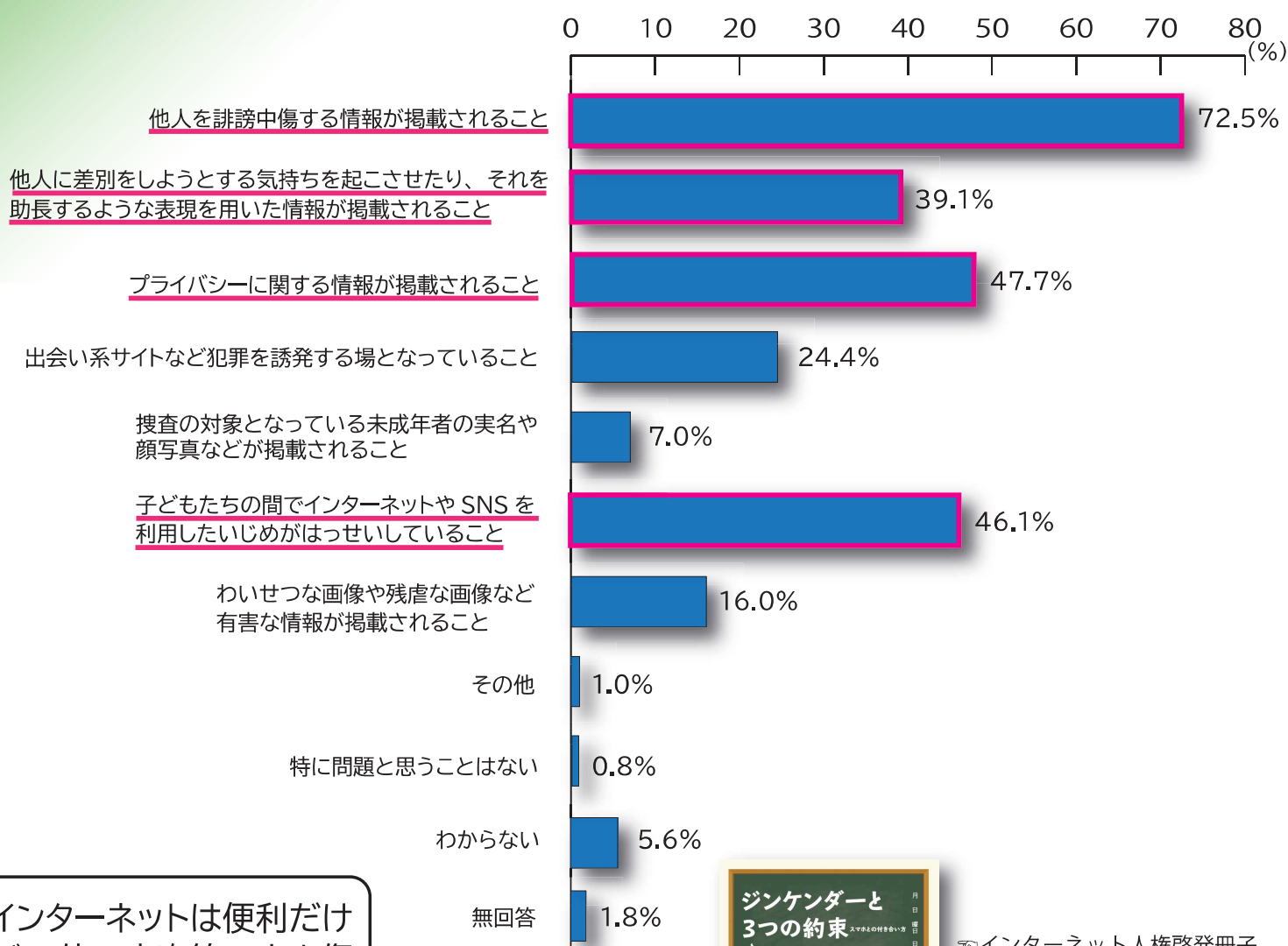
らい菌によって引き起こされる感染症ですが、感染力は非常に弱く、感染したとしても発症することはまれです。主に末梢神経が麻痺したり皮膚に病変が現れますが、現在では有効な治療薬が開発されており、早期に適切な治療を受ければ後遺症を残さずに治る病気となっています。



# ⑨ 人権に関する県民意識調査の結果から

インターネット上の人権侵害について、特にどのようなことが問題だと思いますか？（3つまで選択）

「他人を誹謗中傷する情報が掲載されること」と回答した人の割合が最も高く、次いで「プライバシーに関する情報が掲載されること」、「子どもたちの間でインターネットを利用したいじめが発生していること」、「他人に差別をしようとする気持ちを起こさせたり、それを助長するような表現を用いた情報が掲載されること」の順となっています。



インターネットは便利だけど、使い方次第で人を傷付けてしまうのー！  
誹謗中傷や差別の書き込みは、絶対やってはいけないのー！



インターネット人権啓発冊子  
「Jinkendā to 3 no Yakusai」  
(滋賀県作成)

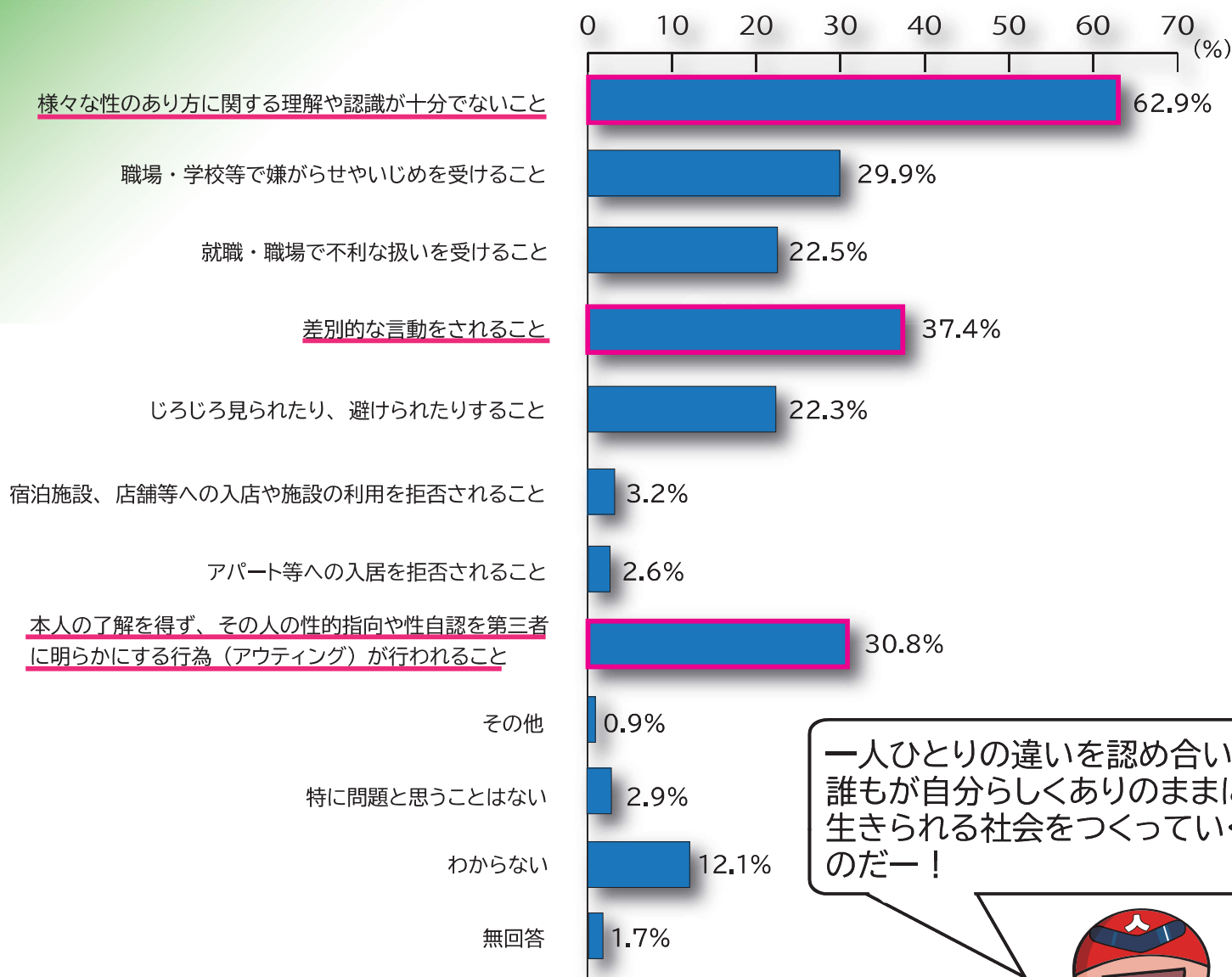
「Jinkendā to 3 no Yakusai」  
掲載ページ (滋賀県ホームページ)



# 人権に関する県民意識調査の結果から

LGBTなどに関する事柄で、人権上、特にどのようなことが問題問題だと思えますか？（3つまで選択）

「様々な性のあり方に関する理解や認識が十分でないこと」と回答した人の割合が最も高く、次いで「差別的な言動をされること」、「本人の了解を得ず、その人の性的指向や性自認を第三者に明らかにする行為（アウティング）が行われること」の順となっています。



一人ひとりの違いを認め合い、誰もが自分らしくありのままに生きられる社会をつくっていきましょう！



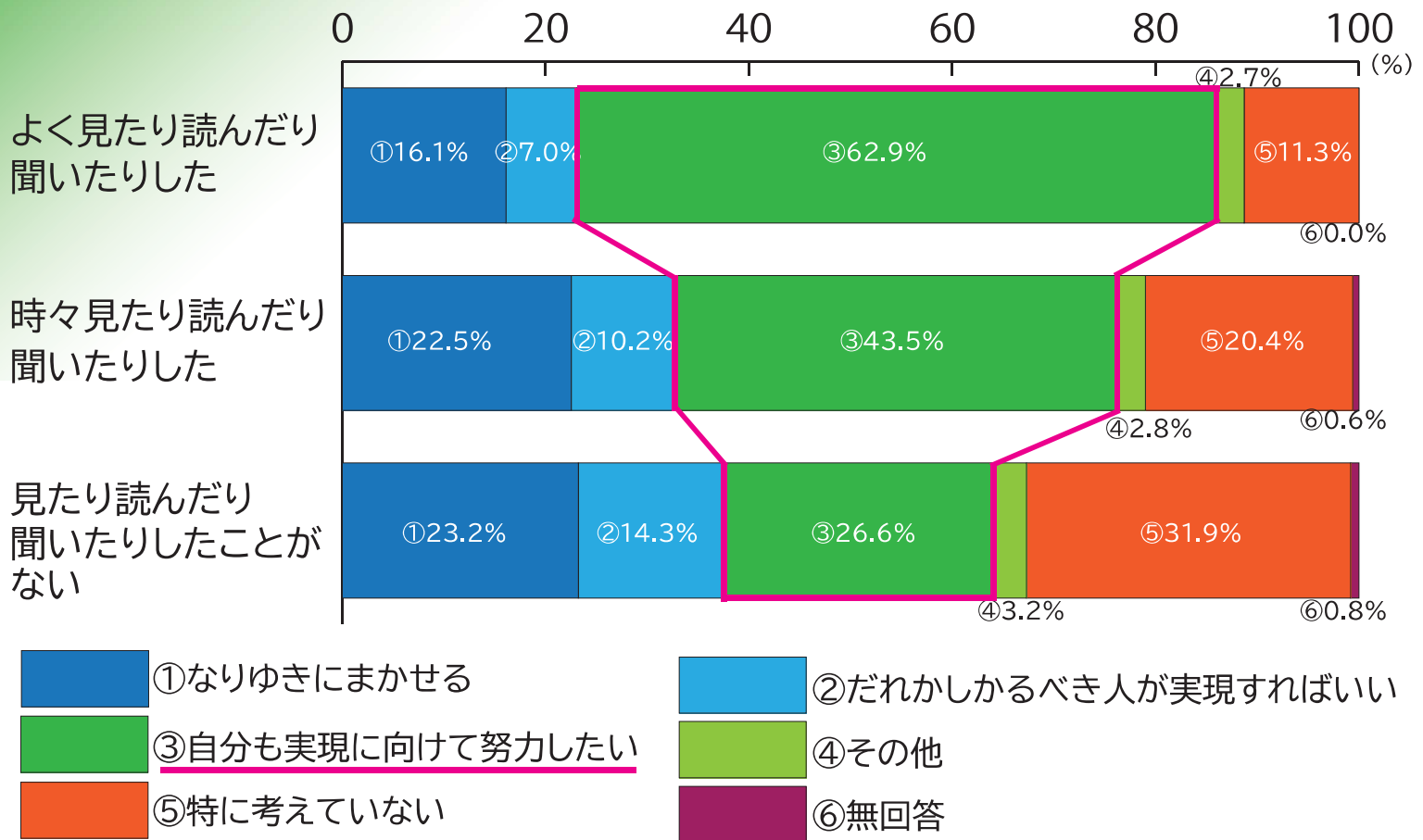
LGBTとは・・・

性的指向（どのような性別の人を好きになるか）のあり方を示す「レズビアン」、「ゲイ」、「バイセクシャル」および性自認（自分の性をどのように認識しているか）のあり方を表す「トランスジェンダー」の頭文字を組み合わせたもので、性の多様性を表す言葉の一つとして使われています。（LGBT以外にも、男女のどちらにも恋愛感情を持たない人や、自分自身の性が決められない人、わからない人など、様々な人がいます。）

# 人権に関する県民意識調査の結果から

〈クロス集計〉  
啓発活動への接触状況（広報誌）× 人権が尊重される社会の実現に向けての考え方

啓発活動（広報誌）への接触状況が高い人ほど、人権が尊重される社会の実現に向けて「自分も実現に向けて努力したい」と答えた人の割合が高くなっています。

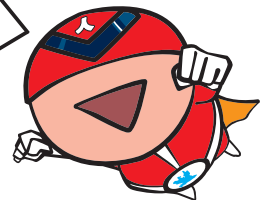


滋賀県では、多くの人に人権の大切さを知ってもらうため、県広報誌や新聞、テレビ・ラジオ、インターネット広告などの様々な媒体を活用した広報や、駅などでの街頭啓発、商業施設での啓発イベント等を実施しています。

滋賀県が実施している啓発活動の詳細はこちら  
(滋賀県ホームページ)

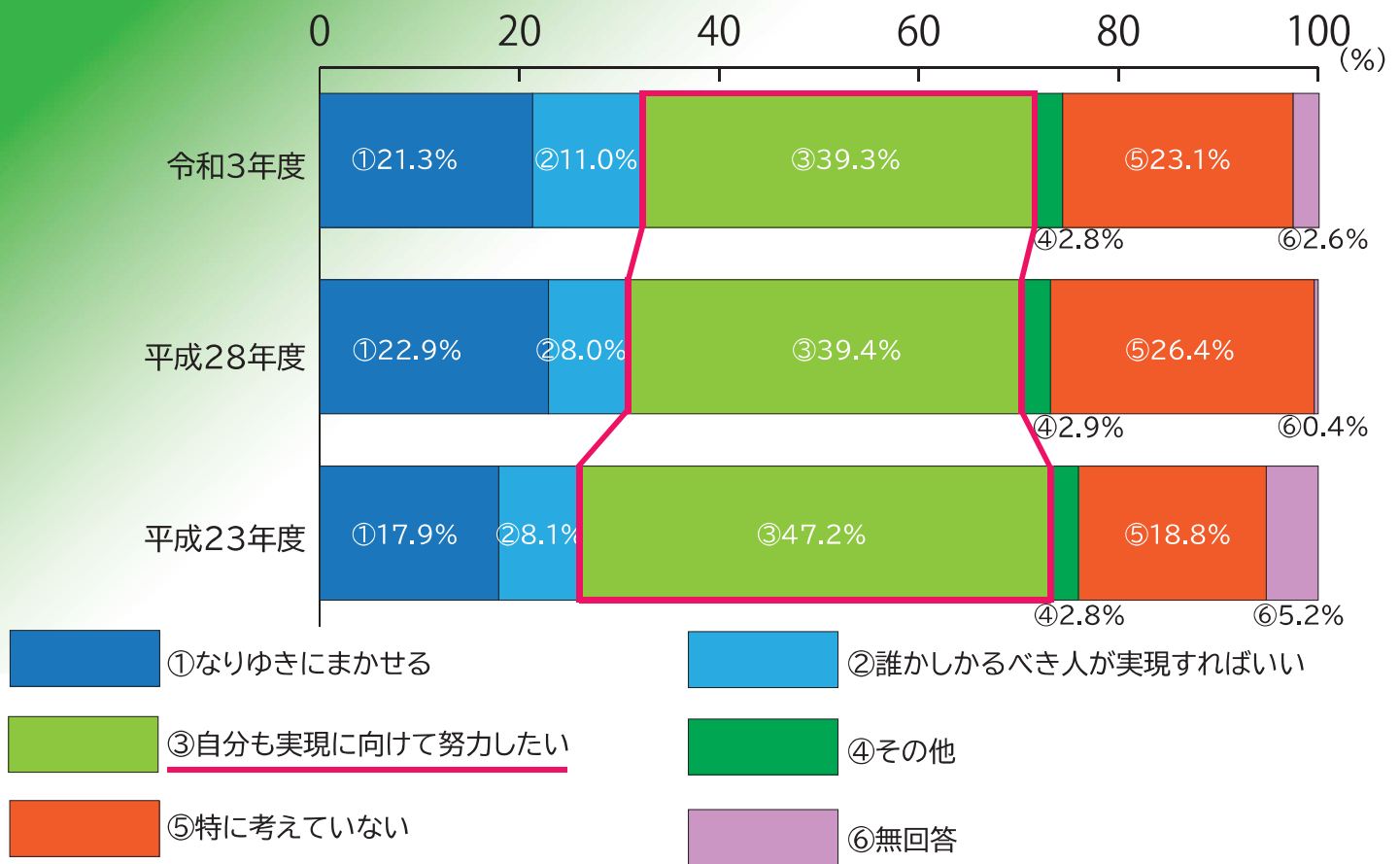


いろいろな啓発に触れて人権の大切さを感じてほしいのだー！



# ⑫ 人権に関する県民意識調査の結果から

「人権が尊重される社会」の実現に向けて、あなたの思いに近いものはどれですか？



「自分も実現に向けて努力したい」と回答した人の割合が最も高く、次いで「特に考えていない」、「なりゆきにかかせる」の順となっています。

前回、前々回の結果と比較すると、大きな変化はありませんが、「自分も実現に向けて努力したい」という積極的な考えを持つ人の減少傾向に歯止めがかかった状況です。



人権は特定の人のためだけにあるのではなく、みんなにとって身近で、とても大切なものなのだー！  
だからみんな一人ひとりに、自分の人権も周りの人の人権も同じように大切にできるように考えてほしいのだー！

「人権に関する県民意識調査」について詳しくお知りになりたい方はこちら  
(滋賀県ホームページ)



滋賀県人権施策推進課  
ホームページ

